降雪への備えはだいじょうぶ？

冬を安全に過ごすために



11月中旬現在、早くも降雪のあった地域もありました。いよいよ本格的な冬を迎えます。その年によって積雪量は異なりますが、時には「ドカ雪」と呼ばれるまとまった降雪があることも…。

今回の特集では、雪国湯沢町の冬を安全に過ごすための準備とポイントをお伝えしますので、一緒に確認しましょう！

車

チェックしましょう！

冬用に交換するもの

- ☐ タイヤ
- ☐ ワイパー　☐ ウォッシャー液

車内に備えると良いもの

- ☐ 厚手の手袋・軍手・長ぐつ
- ☐ スノーブラシ　☐ けん引ロープ
- ☐ 除雪用小型スコップ　☐ 食料
- ☐ 厚手のタオル・毛布
- ☐ ブースターケーブル

タイヤが雪に埋まって空回りし動けなくなる「スタック」も起こり得ます。万が一に備え、ご加入中の保険会社等のロードサービスへの連絡方法なども確認しましょう。

雪みちの運転

発進前の準備を行いましょう

発進時に車に積もった雪が流れ、視界不良や落ちた雪が後続車の迷惑につながる恐れがあります。事前に雪はしっかり落とすこと。また、窓ガラスの曇りも取りましょう。

車間距離は広くとりましょう

暖かい時期と同じ感覚のブレーキ操作では止まりきれません。広めに車間距離をとり、余裕あるブレーキ操作を心がけましょう。

「急」がつく操作はやめましょう

急発進、急加速、急ハンドル、急ブレーキは危険です。アクセル・ブレーキはやわらかく少しずつ踏みましょう。

歩行者

凍結した路面の上に新雪が積もると、凍っていることに気がつかず滑ってしまうなんてことも…。

時間に余裕をもつ

あわてて出かけないよう、早めに準備。

歩幅を小さめに歩く

垂直に上から踏み込むように歩くと滑りにくいです。

両手は空ける



バランスをとって歩きやすくなり、転んだときも受け身を取りやすくなります。かばんはリュックサックやショルダーバックがおすすめ。

手はポケットから出して歩きましょう。

傘もささない方が安全です。

雪みちでのくつ

長ぐつやスノーブーツなど撥水性があり、くつ底に溝があるような滑りにくいものをはきましょう（スニーカーはやめましょう）。

「シッパネ条例」を守りましょう

「シッパネ」とは氷雪を含む冷水だまりを車両等が通過することにより飛散する氷雪水のこと（湯沢町シッパネ被害根絶に関する条例から）

雪みちでは車のスピードを落とすなど、歩行者に配慮した運転を心がけましょう。